

近代建築 昭和34年 3月号
(第13巻)

材

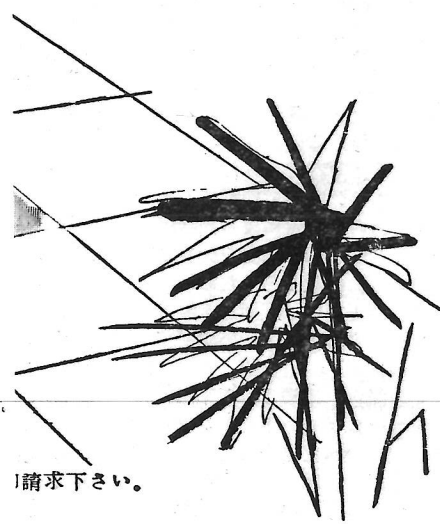
星P27
星P
星マ

星P27
星P
星マ

星P
(2 耗厚)

星マ

規格 寸法 12"×12" 厚サ 1/8"
又ハ 9"×9" 又は 3/8"
価格一面坪 2,300円~4,800円(材工共)



請求下さい。

工株式会社

Tel 王子(91)代表1181

Tel 土佐堀(44)代表0810

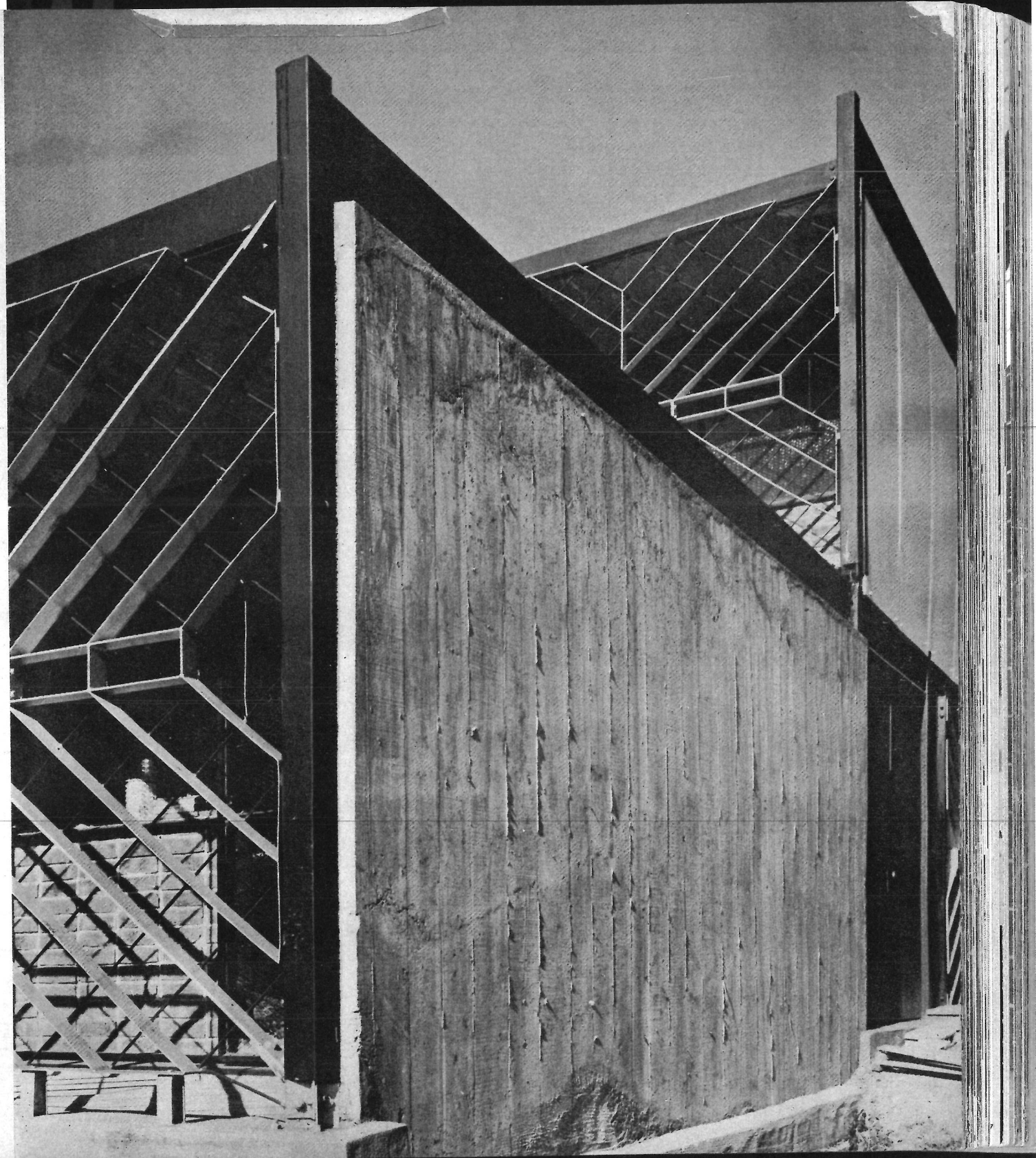
碧

水

荘

—三鷹・神経科病院—

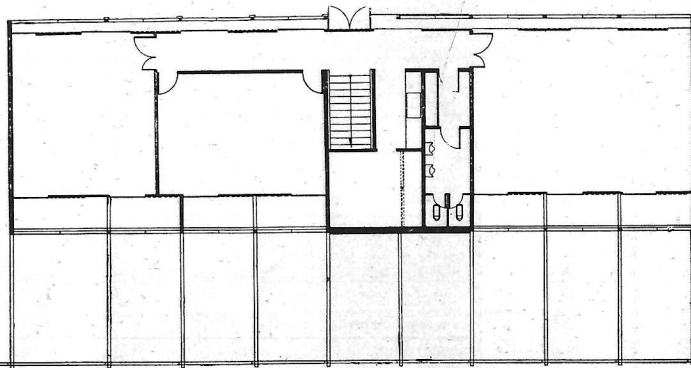
設計 広瀬謙二建築技術研究所
施工 川上工務興業株式会社
鉄骨 鼎製作所
サッシュ 福岡工業株式会社



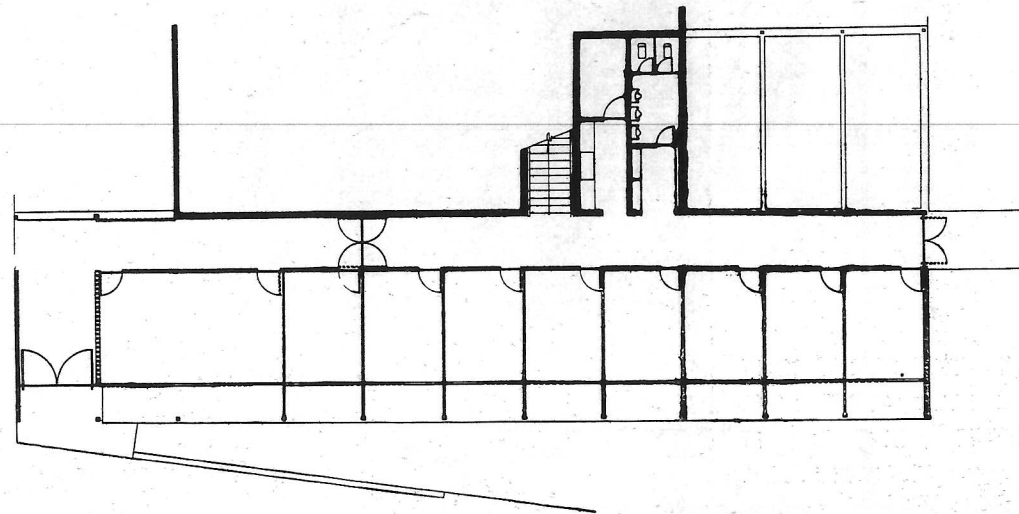


正面全景 Front general view 左側のバタフライは旧館・旧館との取合部分が新館の入口 格子のあるところが病室になっている

Photos : Ch. Hirayama



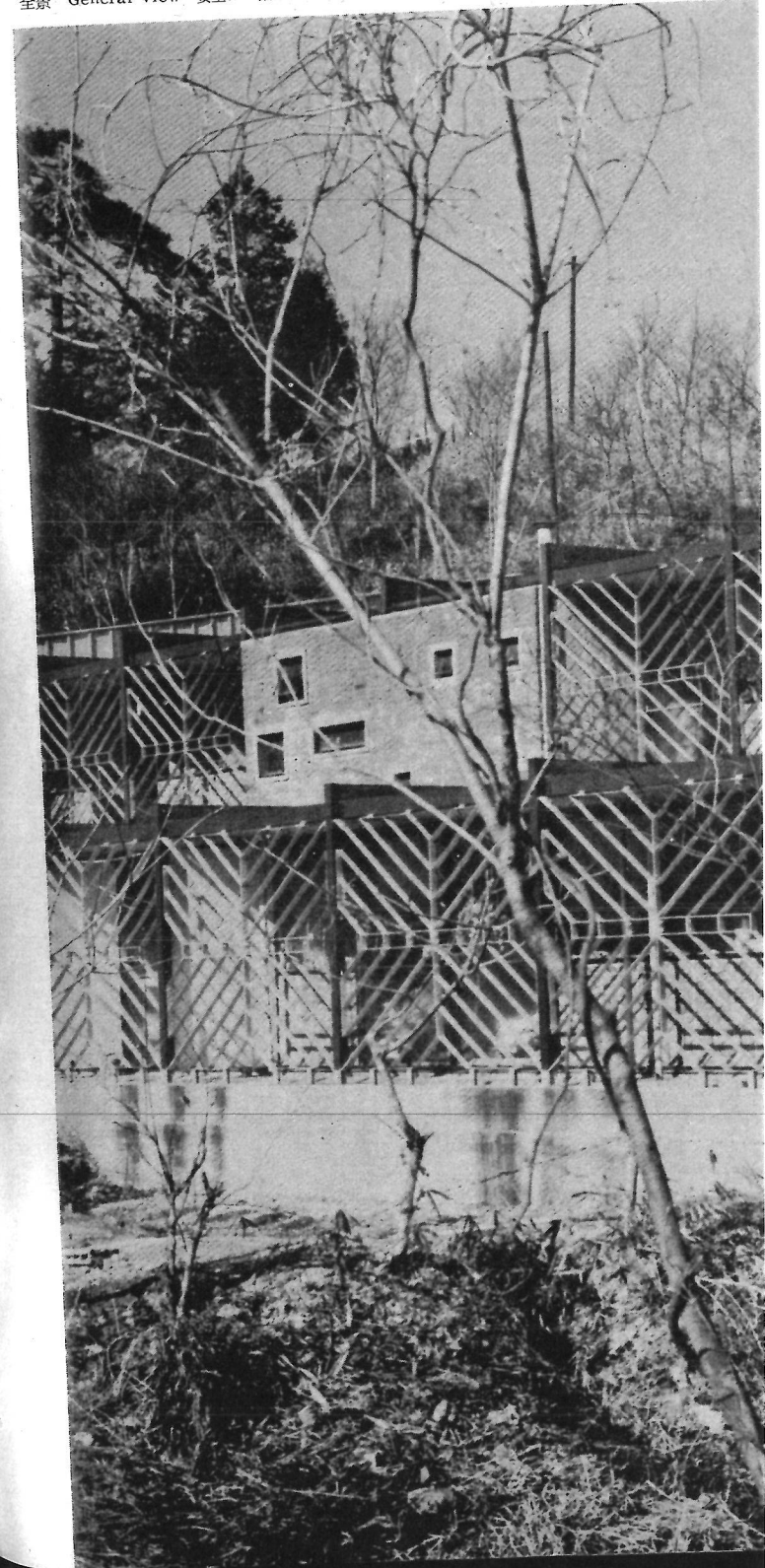
2階平面図 2nd floor plan



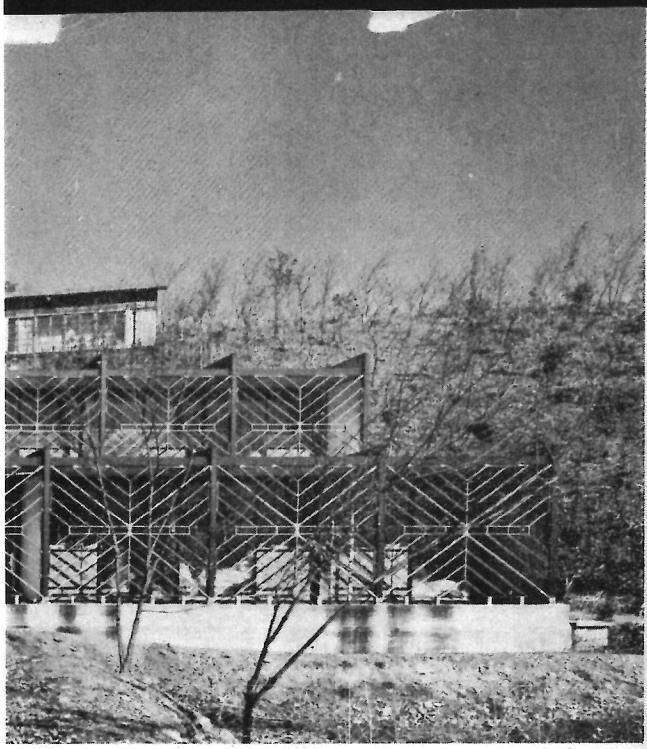
1階平面図 1st floor plan

これは三鷹の天文台に接した西向の斜面に建つた神経科の病院である。
 すでに敷地の北側に木造2階建の診療や事務関係の設備を持つた病棟が建っていたのでこの旧館とはその玄関で継いで新しい2階建の病棟が計画された。建物としては2階建であるけれども病人の性質上完全な重層にすることは2階の条件が甚しく悪くなるので敷地の斜面を利用して2階の非常口も直接地面へ接するように計画してある。各室の間仕切りはパネルになって取付取外しが簡単に出来るので内部空間はかなり弾力性のある使い方が出来るようになっている。外部の開口部は危険防止のために網入硝子入りステールサッシュである。しかし切角の眺望が楽しめるのは残念であるし精神療法にも効果があると思われたので外壁と格子の間にベランダが設けてある。

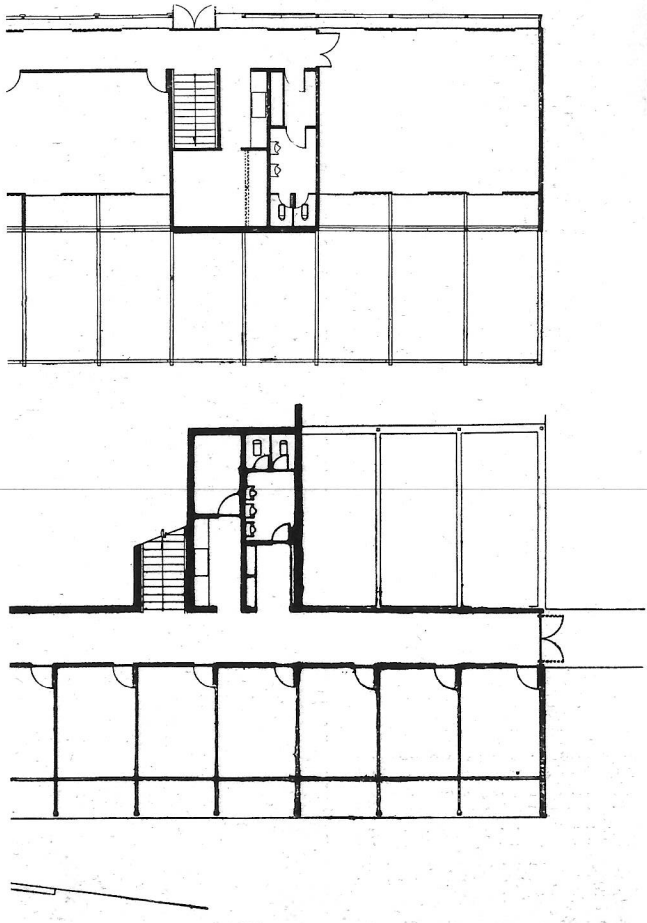
全景 General view 表壁は2階がエレクションボード 1階がコンクリート打放し 格子は病室 2

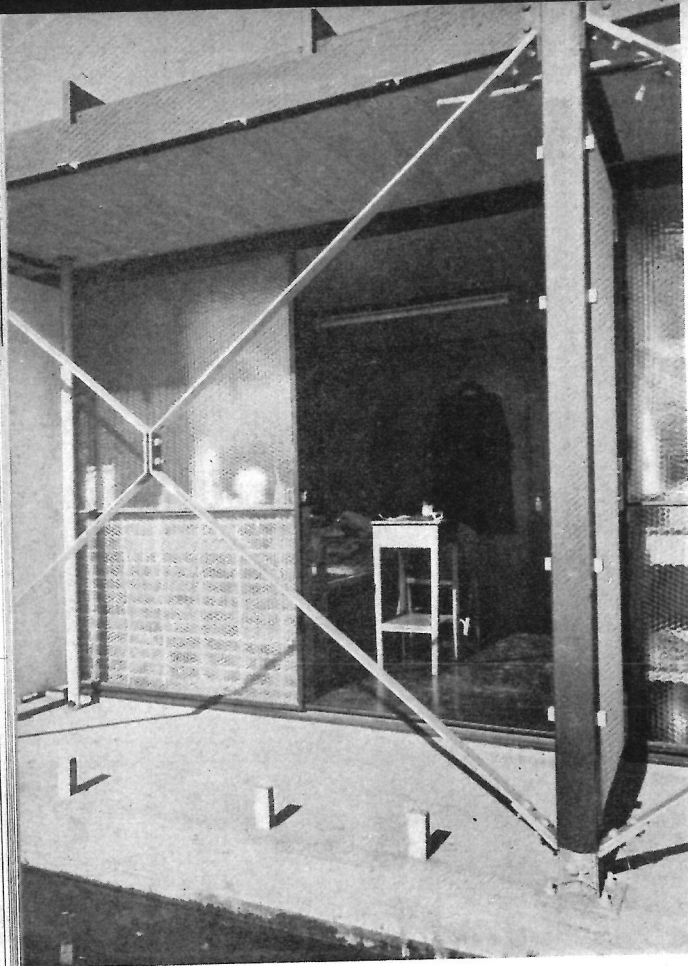


全景 General view 妻壁は2階がエレクションボード 1階がコンクリート打放し 格子は病室 2階正面中央の壁は煉瓦積み

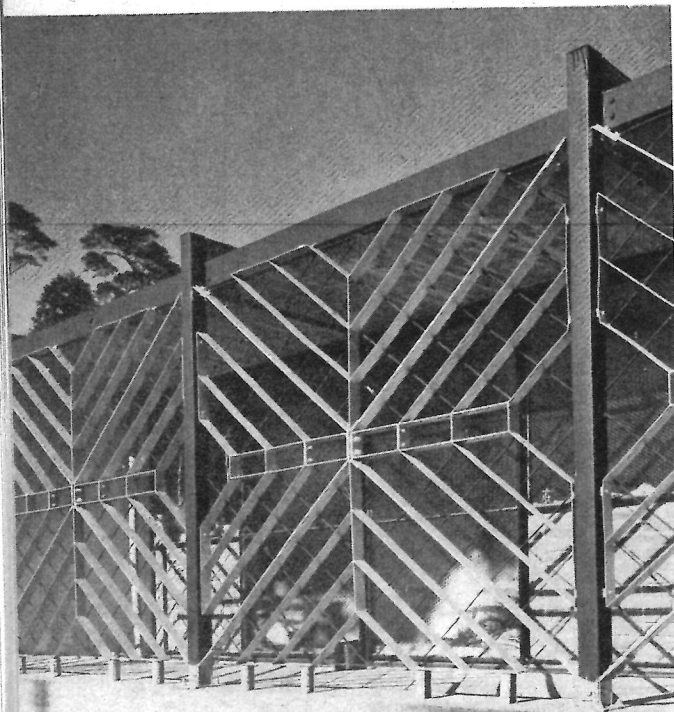


Photos : Ch. Hirayama

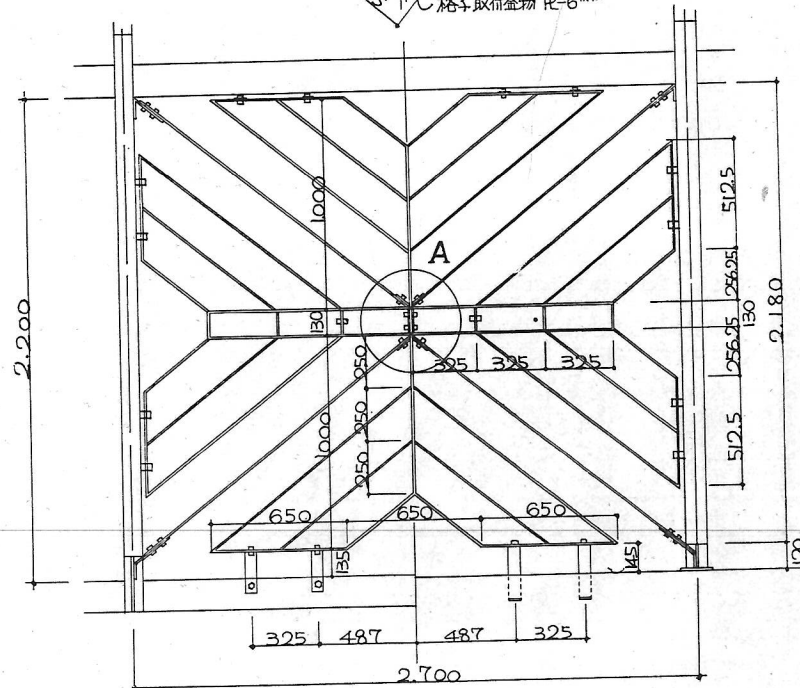
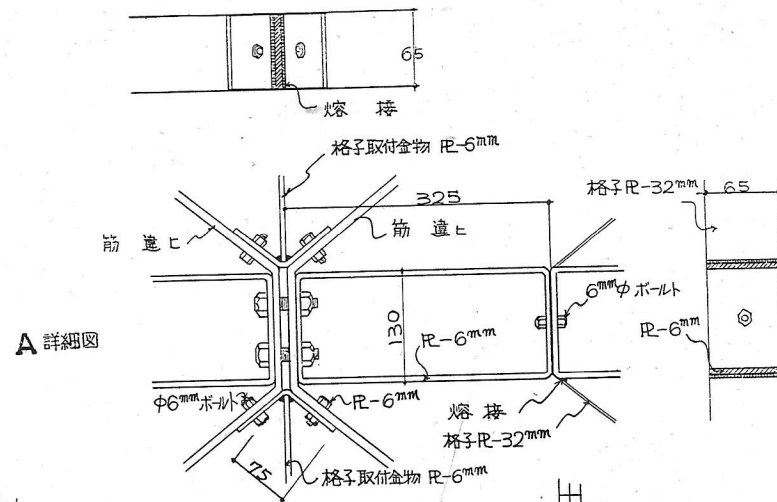




格子を外して病室を見る
sick room view
腰は大東瓦 間仕切
壁は合板 パネル



格子の裏はサンデ
ツキになっている

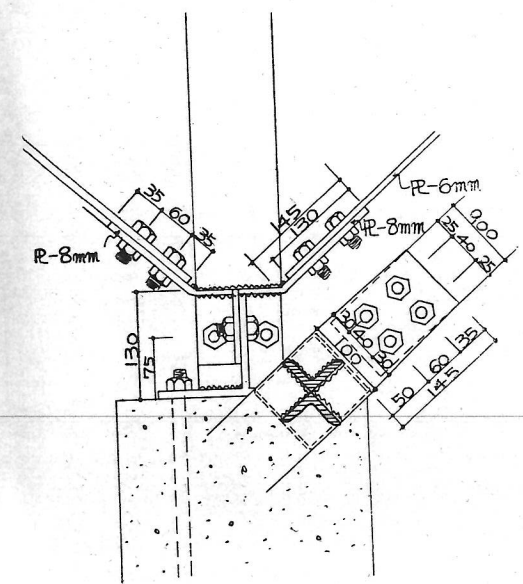


格子詳細図

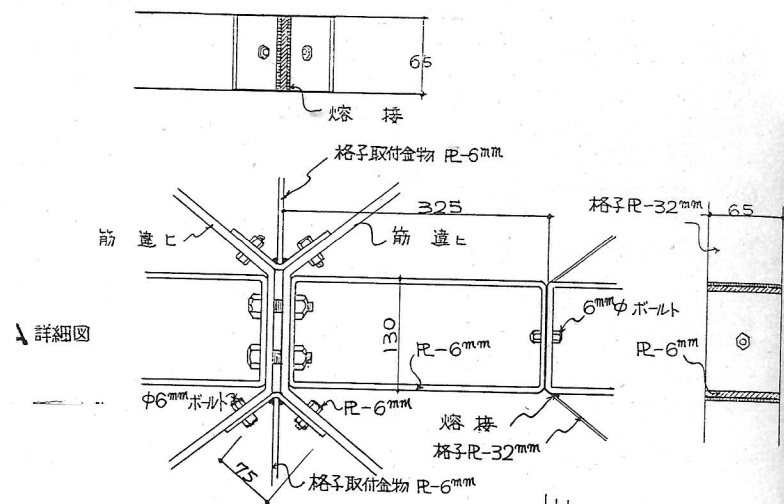
lattice details

格子 この病院は神経科なので 各病室には全て格子を設ける必要がある。
しかし 何如にも格子の中というのでは 患者の神経にも良い影響を与えず治療効果も薄いので 何とか格子らしくらぬ格子を考えなければならないことになった。幸いなことに鉄骨造の場合には 横力を筋違に取るのが構造を経済的にするのみに有利なので この筋違を利用した格子を考えて見た。この格子は筋違の他に2種類4個に別れていて取付取外しが簡単に出来るようになってる。

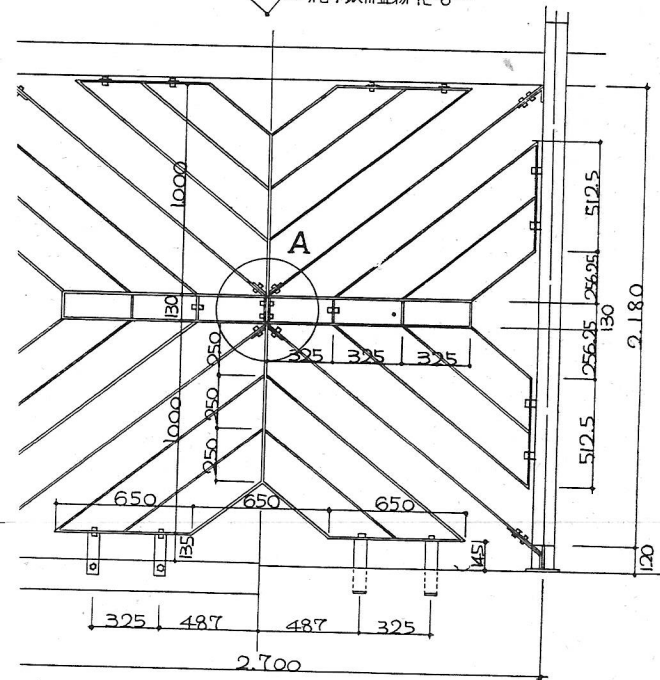
柱脚 鉄骨造で一番錆び易いのは 汚れやすく水の溜り易い柱脚部である。そこで柱の水切りを良くして柱の発錆を防止しようとしたのがこの案で さらにベースのピースも柱とは別にして 電気亜鉛鍍金したものを基礎に取付け 柱とはさらにボルト締めするようになってる。従つてこの案では柱の下部だけメッキするなどの面倒なことをせずにベースの小さな部分だけメッキすれば良いから費用も少くてすんでいる。



1階柱脚・筋違 取付部分

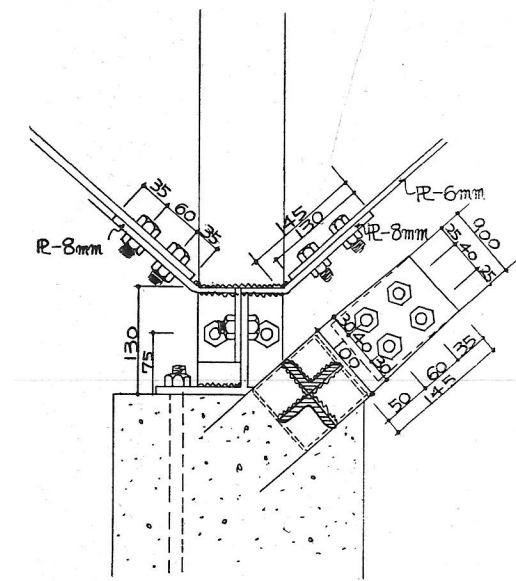


A 詳細図



詳細図

lattice details



1階柱脚・筋違 取付部分

格子 この病院は神経科なので 各病室には全て格子を設ける必要がある。
しかし 何如にも格子の中というのでは 患者の神経にも良い影響を与えず治療効果も薄いので 何とか格子らしからぬ格子を考えなければならないことになった。幸いなことに鉄骨造の場合には 横力を筋違に取るのが構造を経済的にするのみに有利なので この筋違を利用した格子を考えて見た。この格子は筋違の他に2種類4個に別れていて取付取外しが簡単に出来るようになっていて。

柱脚 鉄骨造で一番錆び易いのは 汚れやすく水の留り易い柱脚部である そこで柱の水切りを良くして柱の発錆を防止しようとしたのがこの案で さらにベースのピースも柱とは別にして 電気亜鉛鍍金したものを基礎に取付け 柱とはさらにボルト締めするようになっていて。従つてこの案では柱の下部だけメッキするなどの面倒なことをせずにベースの小さな部分だけメッキすれば良いから費用も少なくてすんでいる。

